



ウツボグサ

(2004年7月11日 撮影)

あめ つづ つ ゆ なつ りんどうそ くさち
雨が^{つづ}続く梅^{つゆ}雨^{なつ}から夏^{りんどうそ}にかけて、林^{くさち}道^み沿^みいや草^み地^みな
どでたくさん見^みかけるようになります。

こ むらさき あお いろ ちい はな
濃い^こ紫^{むらさき}や青^{あお}い色^{いろ}をした小^{ちい}さな花^{はな}を、たくさんつ
けます。

なまえ ゆらい はな ぶぶん かすい かたち
名^{なまえ}前の^{ゆらい}由来^{はな}は、この花^{はな}のつく^{ぶぶん}部分^{かすい}(花^{かたち}穂^{かたち})の形^{かたち}が
むかし ぶし や い つか うつぼ
昔^{むかし}の武^{ぶし}士^しが矢^やを入^いれてお^いくのに使^{つか}った「靱^{うつぼ}」とい
う道^{どうぐ}具^ぐに似^にているところからつきました。

なつ お はな お なつ
夏^{なつ}も終^おわりご^{はな}ろには花^おも終^{なつ}わるところから、夏^{なつ}に
か くさ か かこそう よ
枯^かれる草^{くさ}と書^かいて「夏^か枯^{こそう}草^よ」とも呼^よばれます。



うつぼ しろういのげうつぼ
「靱^{うつぼ}」(白^{しろうい}猪^{のげ}毛^{うつぼ}靱)。仙^{せん}台^{たい}市^し博^{はく}物^{ぶつ}館^{くわん}所^{しょ}蔵^{ざう}